

第1回東海村総合計画審議会会議録

1	開催日時	令和8年6月25日（木） 午後3時から午後4時40分まで
2	場所	東海村役場 原子力視察研修室
3	出席者	橋爪委員，葛西委員，鹿志村委員，伊藤委員，榊原委員，小野委員，丹委員
4	欠席者	浜中委員，石川委員，赤津委員
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	なし
7	議題	・開会 ・村長あいさつ ・令和8年度のスケジュール確認 ・令和7年度地域幸福度調査の報告 ・Village・Actionに基づく令和8年度実施計画説明（令和7年度の取組み結果含む） ・重点政策パッケージにおける各アクションの協議 ・閉会
8	配布資料	別添1～4-2のとおり
9	発言内容	会議録のとおり ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----
10	結果	令和8年度のスケジュールを確認し令和7年度の地域幸福度調査の結果を報告した。 また，令和7年度の取組み結果と令和8年度の実施計画を抜粋して説明し意見交換を実施した。 今後は，令和9年2月～3月に第2回目を予定している。

第1回東海村総合計画審議会

日 時：令和8年6月25日（木）15時00分～16時40分

会 場：東海村役場 原子力視察研修室

出席委員：常磐大学 総合政策学部法律行政学科 准教授 橋爪 英輔 委員

社会福祉法人オークス・ウェルフェア 理事長 鹿志村 茂 委員

株式会社ヒューマンサポートテクノロジー 代表取締役 小野 浩二 委員

株式会社C o - L a b 共同代表 伊藤 史紀 委員

明治学院大学 社会学部 社会福祉学科 教授 榊原 美樹 委員

東海村小中学校PTA連絡協議会会長・中丸小学校PTA会長

・東海南中学校PTA副会長 丹 大輔 委員

一般社団法人 ラフェット・デラブル理事 葛西 美紀 委員

欠席委員：東海村立東海南中学校 教務主任 石川 友康 委員

公募委員 赤津 颯斗 委員

A. I. 設計 浜中 本子 委員

議事内容：開 会

村長あいさつ

令和8年度のスケジュール確認

令和7年度地域幸福度調査の報告

Village・Actionに基づく令和8年度実施計画説明

重点政策パッケージにおける各アクションの協議

1. 開会

【事務局】 皆さん、こんにちは。出席予定の皆様が揃いましたので、ただいまから令和8年度第1回東海村総合計画審議会を開会させていただきます。私は、本日の司会進行を務めさせていただきます、政策推進課長の〇〇でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

(資料確認：省略)

それでは、委員長よりご挨拶をお願いします。

【審議会委員長】 皆さん、お久しぶりです。本日は昨年度の結果と今年度のスケジュールの確認等、内容がいろいろございますが、有意義な時間にしていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 村長あいさつ

【事務局】 続きまして、山田村長からご挨拶を申し上げます。

【山田村長】 伊藤委員長をはじめ、委員の皆様方には、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

審議会の方で「まちづくりの羅針盤」をご審議いただいておりますが、今回の幸福度指標全体では7.0から7.1へと上昇しており、方向性としてはよかったと思っております。ただ、分野別に見ると、主観指標と客観指標で数字がうまく出ていないところもあり、庁内でも各部長から、政策としてはしっかりやっているつもりだったが評価が上がらないという声もありました。指標の取り方の問題もあるかと思いますが、皆さんの実感や数値の分析も含め、率直なご意見をいただければと思います。

まちづくりの羅針盤も2年目を迎え、さらなる推進が重要だと考えており、新規事業も取り入れながら推進しております。人口減少対策については、昨年の出生数が224人から240人へと回復し、今年の4月は1か月で36人のお子さんが誕生しました。年間で単純換算すると300人近くになる見通しです。人口ビジョンでは毎年250人の出生と転入100人増をキープすれば2040年・50年に3万6,000人をキープできると見込んでおり、明るい兆しが出てきています。なぜ出生数が増えたのか、その分析を現在進めているところです。

また、DXについては、今年は住民の皆さんが最も利用する（庁舎1階の）窓口を大きく改革します。防災対策や組織体制の整備なども進めており、引き続き忌憚のないご意見をいた

だければと思います。

【事務局】 続きまして、本日出席しております村執行部のメンバーをご紹介させていただきます。山田村長、萩谷副村長、総合戦略部長の〇〇、政策推進課課長補佐の〇〇、同じく課長補佐の〇〇、係長の〇〇、改めまして政策推進課長の〇〇でございます。また、昨年に引き続き事務局のサポートをいただいております策定支援事業者の〇〇様にもご出席いただいております。

なお、山田村長と萩谷副村長につきましては所用のためここで退席させていただきます。

【事務局】 本日の出席者でございますが、委員10名のうち7名にご出席いただいております。東海村総合計画審議会の組織及び運営に関する規則第5条第2項に定めます委員定数の過半数以上の出席という要件を満たしておりますので、本審議会が成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、ここからの議事進行は伊藤委員長にお任せしたいと思います。

【審議会委員長】 久しぶりにお会いしましたので、よかったら一言ずつ近況をお話いただければと思います。

【審議会委員】 〇〇でございます。まちづくりの羅針盤を授業で紹介しており、先月の学部1年生約300人の授業でも取り上げました。概ね好意的に受け止められましたが、「東海村出身なのに知らなかった」というコメントが多く、広報活動の重要性を改めて感じています。（情報発信・取得の多様化により）インターネットすら見ない学生もあり、情報発信の手法について時代の変化を感じています。

【審議会委員】 〇〇です。先ほど村長からお話のあった子供の出生数の増加は、支援活動を進める上でも最も肝要なことと感じています。なぜ増えているのかという分析結果が見えてきて、継続して取り組んでいただければと思います。

【審議会委員】 今年の4月にモンゴルからの新入社員が東海村に居住しています。最初は家賃の高さに苦労していたようですが、住んでみると自転車でスムーズに買い物もできて住

みやすいと言っており、東海村の良さを実感しています。私自身も、この審議会への関与がきっかけで姉妹都市との交流機会も得られ、大変助かっています。

【審議会委員】 東海村駅東のアイヴィルの中に、4月にシェアキッチンがオープンし、指定管理者として運営しております。住民の方から「素敵な場所を作ってくれた」「東海村ってすごいところだね」という声をたくさん聞いています。もっと東海村をみんなに知ってもらえたらと思います。

【審議会委員】 引き続き小中学校でPTAの会長・副会長を務めております。先ほどの出生数の話ですが、実は私も草の根活動として会社の同僚・後輩に声掛けを行っており、~~去年~~今年3世帯引っ張ってきました。3月・4月に子どもが2人生まれているので、その中にカウントされているかもしれません。また、私が村の活動に関わっているのを見て、中学2年生の息子が平和大使などの活動に興味を持ってくれたことが嬉しかったです。

【審議会委員】 村の福祉分野における包括的な支援体制のあり方について、行政や社会福祉協議会の担当部署の皆さんと研究会を行い、1月に行われた報告会などにも関わらせていただいています。いろいろな会議の場で「まちづくりの羅針盤」という言葉が出てくることが増えており、村の中で大事なものとして定着してきているという印象を受けています。

【審議会委員長】 ありがとうございます。改めましてよろしくお願いいたします。それでは令和8年度のスケジュールについて、事務局からご説明をお願いします。

3. 令和8年度のスケジュール確認

【事務局】 着座にて失礼いたします。令和8年度進捗管理スケジュールについてご説明いたします。青枠が濃くなっている部分が令和8年度のスケジュールとして昨年の審議会でお示しした内容です。

今年度は審議会を前半・後半の2回開催する予定です。第1回目となる本日は、令和7年度の地域幸福度調査結果の報告と、Village・Actionに基づく令和8年度実施計画の説明及び令和7年度取組結果を議題としています。後半の第2回目は、令和8年度の取組結果の報告を実施する予定です。

また、令和7年12月から令和8年1月にかけて実施した地域幸福度指標の調査結果が取りまとめられましたので、本日はご報告いたします。令和8年度についても同時期に同様の調査を実施し、令和9年度に報告する予定です。

【審議会委員長】 昨年度と変わる点として、審議会後に委員から個別に意見を伺う機会も設けるということでしょうか。

【事務局】 はい。会議時間が2時間と限られていることから、本日の意見交換に加えて、一定期間を経た後にオンラインでの意見交換の機会を設けたいと考えています。

【審議会委員長】 ありがとうございました。ご質問等はよろしいですか。それでは地域幸福度指標に基づく意識調査結果報告について、ご説明をお願いします。

4. 地域幸福度指標に基づく意識調査結果報告

【策定支援事業者】 着座にて失礼いたします。地域幸福度指標に基づく村民意識調査をご報告いたします。

本調査は、東海村の「まちづくりの羅針盤」の運用の参考とすることを目的として実施しております。対象は東海村在住の18歳以上の方1,500人を無作為抽出し、郵送とWebによって回答を受け付けました。今回の有効回収率は33.2%で、令和6年度の33.5%とほぼ同程度の回答が得られました。

なお、資料中に「令和11年度（2039）」とありますが、正しくは「2029」でございますので、ご訂正をお願いいたします。

回答者は男女ほぼ半数で、平均年齢は56.9歳でした。婚姻状況は既婚で配偶者ありが71.5%と最も多く、世帯構成は親と子の2世代世帯が最も多い状況です。子供がいないという回答が最も多く、世帯年収は300万円以上500万円未満が最も多く、最終学歴は高等学校が最も多い状況でした。

主な調査結果として、令和7年度時点の幸福度は7.1という結果で、令和6年度の7.0から0.16上昇しました。経年比較が可能な設問5つのうち、4つで平均値が上昇しました。全国平均の6.4と比べると0.7上回る水準となっています。

生活環境については、特に上昇幅が大きかったのは、騒音への悩みの減少、地域の空気や水の清潔感、身近な自然の感じやすさです。一方で低下した指標もありましたが、問13（娯

楽施設)と問30(防犯対策の状況)以外は全体的に令和6年度より高い水準となっています。

地域の人間関係については、上昇幅が大きかったのは、「困った時に相談できる人が身近にいる」「女性が活躍しやすい雰囲気がある」「若者が活躍しやすい雰囲気がある」等の設問です。一方で、「町内の人が自分をどう思っているかが気になる」「町内の人が困っていたら手助けする」「見知らぬ他者でも信頼する」などは低下幅が大きい結果でした。

自分らしい生き方については、経年比較可能な全設問で前回より高い水準となりました。特に文化芸術に関する設問、「新たなことに挑戦・成長する機会がある」「学びたいことを学べる機会がある」の上昇幅が大きい結果でした。

東海村への気持ちについては、平均点が最も高かったのは「東海村をより良くしようと活動する人に感謝したいと思う」という設問で、最も低かったのは「より良くするための活動に関わりたいと思う」という設問でした。

全国比較の結果として、偏差値が高かったカテゴリーは、環境共生、自己効力感、健康状態、文化芸術などです。偏差値が低かったカテゴリーは、遊び娯楽、移動交通、都市景観などです。

主観・客観のギャップが大きかったカテゴリーとしては、文化芸術、健康状態、環境共生などが挙げられます。

幸福度との相関が強い因子としては、健康状態、自己効力感、住宅環境、文化芸術などでした。幸福度が高い人ほどこれらの因子も高い傾向があると解釈できます。

主観・客観の双方で偏差値が低い「改善の優先順位が高い」カテゴリーとしては、都市景観、移動交通、買い物飲食、遊び娯楽、多様性と寛容性、自然景観などが挙げられます。今後の政策検討において参考にしていただければと思います。ご説明は以上です。

【審議会委員長】ありがとうございました。ご質問があればお願いします。

【審議会委員】 回答者の年齢入力について、10歳未満の回答があるようですが、有効回答として扱っているのでしょうか。

【策定支援事業者】 ローデータを確認させていただきます。

【審議会委員】 10ページの自由記述について、何件程度から抜き出しているのでしょうか。

【策定支援事業者】 紙幅の都合もありますが、複数の方から重複して見られた意見を中心

に掲載しております。元の意見一覧は別途ございます。

【審議会委員】 デジタル庁のダッシュボードでは自由記述は確認できないということですね。

【策定支援事業者】 はい、自由記述については手元のデータにのみございます。

【審議会委員】 6ページの「騒音に悩まされている」がプラス1.23となっていますが、騒音被害が増えたと読めてしまいます。確認させてください。

【策定支援事業者】 この設問は集計を逆転処理しておりますので、増加しているということは改善していると読み取っていただければと思います。

【審議会委員】 13ページのカテゴリ別の図で偏差値が80.0と高い値が並んでいるのはなぜでしょうか。

【策定支援事業者】 ダッシュボードの計算上の値でございます。今回東海村は個別調査として実施しており、全基礎自治体が同様の調査を行っているわけではないため、偏差値が極端に高く出る可能性もあると思われます。

【審議会委員】 自己効力感とはどの設問に対応しますか。

【策定支援事業者】 「自分のことを好ましく感じる」という設問が自己効力感に対応しています。

【審議会委員】 17ページの幸福度との相関分析は、政策的にどう活用できますか。

【策定支援事業者】 相関が強い因子をさらに高めることで幸福度も向上するという仮説のもと、そうした因子への働きかけを促進することが考えられます。例えば、自分を好ましく感じるような自己効力感を高める取組を加速させることも一つの方向性です。

【審議会委員】 回答者の属性は、東海村全体の属性を反映しているといえますか。

【策定支援事業者】 無作為抽出を行っており、妥当と判断しています。ただし、結婚の割合が実数と同じ程度か等、詳細な比較データは現在持ち合わせておらず、また18歳未満の声が拾えないなど、調査上の限界があることは認識しております。

【審議会委員】 7ページの問39「私は町内の方が自分をどう思っているかが気になる」について、これはポジティブ・ネガティブどちらの方向が良いのでしょうか。

【策定支援事業者】 これは逆転処理をしていない設問で、寛容性の区分に属しています。点数が低いほどポジティブ、つまり周りの目を気にしなくなっていることが良い方向という設計になっています。設問によって逆転処理の有無が混在しており、分かりにくい点についてはご指摘のとおりです。

【審議会委員】 主観データと客観データの違いについて教えてください。

【策定支援事業者】 主観データは回答者の気持ちを問う設問で、客観データは施設の数や統計値など客観的な指標で構成されています。

【審議会委員】 19ページの散布図で都市景観が主観・客観ともに低い理由は何でしょうか。客観的に低いというのは具体的にどのような指標によるものですか。

【事務局】 都市景観の客観指標は、景観計画・維持適正化計画・屋外広告物条例の有無、空き家率、地区の人口密度などで構成されています。これらの値が全国平均より低いことが要因と考えられます。ただ、客観指標そのものが都市景観の実態を適切に反映しているかという問題も確かにあると思います。

【審議会委員長】 ありがとうございます。その他いかがでしょうか。それでは時間の都合もありますので、次に移らせていただきます。事務局お願いします。

5. Village・Actionに基づく令和8年度実施計画説明および令和7年度取組結果報告

【事務局】 着座にて失礼いたします。まず令和7年度を取組結果をご説明した後、令和8年度を取組についてご紹介します。

まず、ビジョン1：人口減少対策の令和7年度取組結果についてです。こども・わかもの施策として、令和7年2月に緊急保育施設の認可が降り、また令和7年度からこども・わかもの応援給付金（1人年間6万円）の支給を開始しました。また、産業・情報プラザにおいて若者まちサミットを開催し、約150名が参加しました。移住・定住促進策として「いいムラをつくろう同窓会開催補助金」を創設し、村70周年記念に合わせて年齢制限を撤廃して実施しています。また、令和7年度にアイヴィルのシェアキッチンを整備し、令和8年4月に

オープンしました。

成果として、令和7年の人口は1年間で116人増、出生数約240人となりました。転入者数が転出者数を上回る状況も見られました。保育所の待機児童はゼロでした。

多様性と寛容性に関連する施策として、第6次の男女共同参画行動計画を新たに策定しました。

主観指標については子育てと多様性と寛容性の分野で向上が見られましたが、多様性と寛容性で一部低下した指標もありました。新計画策定などを勘案すると、全体としては妥当に推移していると判断しています。

続いて、ビジョン2：新たな基盤整備（まちなみ整備・交通）に関する令和7年度取組結果です。デマンドタクシー「あいのりくん」にAI配車システムを導入し、平均待ち時間が令和6年度の2.5分から令和7年度は2.0分に短縮されました。村松地区では、村とパートナーシップ協定を結んでいるNPO法人が地域活性化イベントを主催しました。コミュニティセンターのエレベーター設置に向けた設計業務を実施し、令和8年度から村松コミュニティセンターで設置工事に入ります。産業・情報プラザのシェアキッチンが創業支援だけでなく、駅前の賑わい創出にも寄与しています。

移動交通の主観指標は向上しましたが、主観・客観の散布図では双方とも偏差値50を下回っており、住民の期待値も高い分野です。引き続きデータを見ながら施策を検討していく必要があります。石神地区については、国道6号の整備工事が進んでおり、令和8年度以降の具体的な施策展開が必要になってきます。

続いて、ビジョン3：DXの推進の令和7年度取組結果です。村のオフィス改革を本格的にスタートし、庁舎4階の整備を実施しました。また、スマートフォン相談窓口を月1回程度継続的に実施し、一部の自治会でも独自のスマホ相談会が開催されています。

デジタル生活に関する主観指標は向上しましたが、窓口オフィス改革は開始したばかりであり、数年間は効果を見極める必要があると考えています。一方で、「高度化する情報化社会に対応するインフラ整備の促進」については、具体的な政策展開が不十分な部分があり、今後の検討が必要です。

最後に、ビジョン4：安全安心の確保の令和7年度取組結果です。雨水浸水対策として、調整池の整備（グルービー縦の木公園周辺、絆北側）、地下貯留槽の新設、浸水センサーの設置、単独浄化槽の雨水貯留槽への転換工事などを実施しました。防犯対策として、センサーライトやカメラ付きドアホンへの補助を開始しました（好評を得ています）。両中学校で

の校内フリースクールを毎日開催しました。多様な方を想定した避難訓練を実施しました。

自然災害・防犯ともに指標はプラスですが、当事者の意識変化は把握・計測が難しい面があります。必要な取組は常に変化することを前提に、能動的に把握する姿勢が求められます。

【審議会委員長】ありがとうございました。ご質問があればお願いします。

【審議会委員】 窓口オフィス改革によって生産性向上など職員側での効果はありましたか。

【事務局】 個人情報保護の観点から窓口と執務エリアの境目が明確になり、集中して作業できるスペースも設けました。慣れてきた部分もあると思いますが、住民の方が迷わず手続きできるという点でも改善が見られてきています。

【審議会委員】 シェアキッチンや恐竜レースなどのイベントについて、まちコミ等を使って広報されていますが、最初の文面が淡々としており、もう少し「こんな体験ができる」という要素が加わると開封率・参加率が上がるかもしれません。広報の工夫をお願いしたいです。

また、須和間交差点付近で建設中の陸橋について、中丸小と東海南中の通学ルートにも影響しそうですが、どこからどこに向かう道路なのか教えてください。PTAにも情報共有いただければと思います。

【事務局】 水戸・勝田道路として県事業で進めているもので、245号線を起点に笠松方面・那珂インター方向に向かう高規格道路です。事業化されていますが、期間は長く、実現はかなり先になる見込みです。東海村からのアクセス道路についても計画されています。詳細は確認してお伝えします。

【審議会委員】 シェアキッチンは大変好評で問い合わせも多いです。ただ、利用してお客さんがついた後に、家賃が高かったり、建物が少なかったりと、東海村内で開業できる場所がないという課題があります。シェアキッチンの先の「開業の場」を村として考えてほしいと、村長や産業政策課にもずっとお願いしています。

【審議会委員】 移動・交通指標が他と比べて低いですが、この客観指標は駅・バス停からの人口カバー率など、コンパクトシティ型の評価に有利な内容になっているように見えます。

東海村として、駅周辺に人口集約するのか、村内全体を活用するのかという方向性によって、この指標をどう扱うかが変わってきますが、どのようにお考えですか。

【事務局】 駅周辺の区画整理事業がほぼ完了に近づいており、今後は周辺地区の開発も含めた対策を取らないと人口減少対策と結びつかないという認識はあります。コンパクトシティと人口維持のバランスについては、分散を伴う周辺地区の活用も含めた検討が必要と感じています。

【審議会委員】 ビジョン4「安全・安心の確保」の「4 一人ひとりが安心できる暮らしや居場所の確保と役割が持てる場の創出」の Village Action は校内フリースクールに関するもののみですか。

【事務局】 既存住宅の防犯対策としまして、センサーライトやカメラに対する補助を始めました。非常に好評であったという風に思っています。

【審議会委員長】 いろいろとご意見もあるかとは思いますが、個別でお話しいただく機会もあるという事ですので、一旦進行してしまいます。事務局の方をお願いします。

5. 閉会

【事務局】 皆様におかれましては、村へのアドバイスも含め、活発なご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。

(事務連絡：省略)

以上をもちまして、令和8年度第1回東海村総合計画審議会を閉会とさせていただきます。皆様、どうもありがとうございました。

— 了 —